



2006、3.24

## 日本 ORC 協会 の設立の説明

先日、3月26日 日本セーリング連盟と日本 ORC 協会が共同で 昨年 11 月に合意した内容に基づいて新しく 日本 ORC 協会を設立した旨の説明会を行いました。

以下に、本年 1 月から数回にわたり、JSAF から 4 名のまた旧日本 ORC クラス協会から 4 名による設立ボード会議を開催し合意に至った内容を説明いたします。

組織の名称を新しく定めることとする。

名称は日本 ORC 協会、英語名は ORC Association Nippon, 略称は ORCAN (オルカン)

今までの、日本 ORC クラス協会 からの名称変更であり、旧日本 ORC クラス協会の内部組織はそのまま存続することとなります。

Offshore Racing Congress (以下 ORC) の管理する ORC レーティング証書発行サービスを ORC ルールに基づいて公平に、しかも、セール番号の有無、所属などにかかわらず、広く全ての艇に発行することとしました。この事業はまずレースを普及させることが基本であり、そのことによって将来の日本全体の外洋の活性化につながるひとつの道であると考えたからです。日本セーリング連盟(以下 JSAF) と日本 ORC 協会(以下 ORCAN) はパートナーシップの関係を築きお互い協力します。証書は全て日本 ORC 協会から発行され、全てのレーティング証書は ORC ルールにもとづく世界基準に準拠した正式証書とみなされ、レーティング証書上の Rating Authority には ORCAN と記載されず。

8 名のボード会議第 1 回では

ORC 組織の運用に関しルールに基づき以下のように規定する。 (以下全て合意)

### 諸定義

- NA : JSAF  
ISAF 会議において山崎会長は ORC に対し、日本の ORC ルールへ最大限のサポートとパートナーシップを約束してくれました。
- ノミネーティングボディー : ORCAN  
JSAF は合意事項として ORC のレーティングシステムの管理団体として ORCAN を指名したことになります。
- コンGRESSメンバー : ORCAN の推薦で JSAF が任命、人数は証書発行数によって

年度かわることになっています。

## サブミッション

: ORCAN が証書発行の責任を持っていることからその内容を把握していますので、具体的には原案をつくり内容を事前に J S A F 外洋統括に報告した上で、ORC へ直接提案します。

ただし、I S A F のサブミッションは含まれません、ISAF 関係のサブミッションは JSAF 外洋統括と内容協議の上 JSAF から提出します。

## レビー

: ORC からの請求は年度後との実際の証書発行枚数にしたがって 4 半期に分けて請求されます。その請求は ORC から直接 ORCAN に出され ORCAN 会計から 送金されます。

## レーティングオーソリティー

: ORC の定義する ナショナルレーティングオーソリティーは ORCAN であり、全てのレーティングに関する決定権は ORCAN にあります。

2006 年に改定された新しい ORC ルールではナショナルレーティングオーソリティーに関する定義を変更しました。

証書発行は NA からレーティングオーソリティーに変更され、メジャーも報告先を NA からレーティングオーソリティーになりました。

よって ORC レーティングに関するプロテストも ORCAN に上告されることとなります。

また、ワンデザイン モデルに関する認定、モールドの型の認証も ORCAN となります。

## チーフメジャー

: ORC の任命が基本ですが、もちろん ORCAN の推薦に基づき ORC から最終任命されることが望ましいことです。

## レーティングオフィサー

: 同上

## ORC メジャー

: ORCAN 推薦で ORC が任命、ただし今後なるべく多くの ORC メジャーが誕生することが望ましく、現在外洋加盟団体に所属する ORC クラブ計測担当員は ORC メジャーではありませんが、近い将来技術力を向上させる意味で、出来るだけ ORC メジャーの資格を取っていただきたいと考えます。

## ORC セールメジャー

: J S A F 外洋統括のセールメジャー部会と連携し ORC セールメジャーを ORC から任命します。具体的には部会推薦のメジャーを ORCAN で認定し ORC へ推薦します。セールメジャーは IMS ルール 105 条にかかわらず、自社のセールを測定できることとします。

## 8 名のボードメンバーの位置づけ

経営委員会、経営会議とし、細かい技術的問題は別にしても、全体のポリシーを議論する、ORCAN 理事会から独立した機関とするほうが、政策決定上も迅速であり、有効ではないか、ということでもとまりました。

## 具体的事業内容は

- 1) 日本 ORC 協会は ORC の管理する全てのレーティングシステム、ORC レベルクラスルール、チャンピオンシップルールなどに関する政策執行機関であり、証書発行事業を行います。  
またその管理構成メンバーは理事、代議員、業務執行役員で構成されます。  
JSAF 加盟の加盟団体のほか、条件を満たせば、あらゆるクラブ等の団体においても、ORC 証書発行業務をサポートする団体として登録 することが出来ます。登録団体は条件によって理事を選出できます。業務をサポートする個人(たとえばメジャー)も個人会員として登録されます。
- 2) 日本 ORC 協会は日本における ORC レーティングルールの普及に努め、ORC 競技規則に従った競技の主催、共同主催、スポンサーを行います。
- 3) ORC の求めに応じ 韓国、中国、台湾、ロシアへの証書発行も行います。
- 4) セール番号を持たない艇、個人艇にも証書発行を差別なく行うこととし、セール番号の代わりに整理番号(認識番号)を発行し証書を提供します。
- 5) 計測関係の技術の発展を重要課題とし、レーザースキャンニング、電子式インクライニング、等の開発を行います。

## 日本 ORC 協会の義務

- 1) 日本 ORC 協会はレーティング証書発行のための管理機関として計測委員会を構成しなければなりません。
- 2) 日本 ORC 協会はすべての ORC ルールを遵守しなければなりません。
- 3) 日本 ORC 協会はレーティングソフトウェアに関する ORC の持つ所有権を尊重し外部に漏らしてはなりません。全ての Offset File、Hull の Lines のデータに関して、秘密厳守のための、管理を怠ってはなりません。
- 4) 日本 ORC 協会は全ての計測 File データを定期的に ORC へ送らねばなりません。
- 5) 日本 ORC 協会はユーザーへの料金体系、内部の予算関係について自ら決定する事が出来ることとするが、その報告を ORC へ行わねばなりません。
- 6) 日本 ORC クラス協会は ORC レビーの支払いを義務付けられています。
- 7) 日本セーリング連盟が定める特別加盟団体としての義務事項を遵守しなければなりません。

日本セーリング連盟へ特別加盟団体として正式加盟は日本 ORC 協会の定款など整備を完了して申請を出しますが、予定では 2005 年度の決算総会を完了した時点、4 月以降を計画しています。

以上

日本 ORC 協会